

平成29年度 学校評価報告書

1 学校教育目標

自立して自分の将来の夢や目標に挑戦しつづける生徒の育成
～ひとの優しさ、温かさを実感できる学校～

2 今年度の学校重点目標

・人権教育の充実
・学級経営の充実
・学習指導の充実
・生徒指導の充実

3 総合的な自己評価

学校評価アンケートや家庭生活状況調査等の分析により、学校としての課題が明確になってきた。そこから、何を取り組んでいくかという具体的な実践に移してきてはいるが、まだまだ試行錯誤の面もある。しかし、取り組むことで新たな発見もあり、次年度にさらに生かしていきたいと考えている。

4 総合的な学校関係者評価

保護者・生徒からの意見やアンケートの集計結果などに基づき、学校の在り方を検討されていると思う。まだまだ課題もあるともことですが、教職員が課題に対する共通認識をもって取り組まれば、一つ一つ改善の方向に進んでいくのではないかと思います。学校だけで取り組むには限界もあります。地域の方も活用しながら取り組んでいただきたい。

5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
教育課程 学習指導	生徒が主体となって授業に参加する授業形態の研究と実践	・コミュニケーション能力向上のため、毎時間の授業でペアワーク、グループワークを実施した(英語科)が、他教科での実践は少ない。	・協同学習等の授業法の研究・研修を行っていく。 ・授業公開による教科を越えた実践交流を進めていく。	・教育機器の保守管理ができていないことが、教育機器の活用の足かせになっていることは、早急に学校として改善する必要がある。しかし、教育機器に頼らずとも、できる工夫もあると考えるので、教育機器が整っていないからいい授業ができないという結論にならないようにしてもらいたい。
	視聴覚教材や教育機器などの教材教具の活用	・ICT機器は充実してきたが、それを授業で活用することが十分できていない。 ・視聴覚教材の管理が不十分で、使用したいときに使用できない状況があった。	・ICT機器の機能や活用事例に関する研修会を実施する ・視聴覚機器の保守管理を徹底していく。 ・デジタル教科書などのソフトの計画的な整備を図る。	
生徒指導	保護者と連携協力した基本的生活習慣を身に着ける取組	・生活状況調査を年間4回実施することができ、学校評価アンケートの結果から生活習慣、学習習慣の改善を行うことができた。	・生活状況調査の結果を家庭と情報共有しながら、基本的生活習慣の定着を推進する。	・生活状況調査により、確実に生活習慣や学習習慣に改善が見られるのは評価できる。今後も継続していただきたい。 ・いじめは未然防止も当然ながら、どれだけ早く発見し対処するかが大切だと思います。情報がスムーズに伝わる風通しの良い組織づくりをお願いしたい。
	いじめのない安心安全な学習環境をつくる取組	・学期1回のいじめアンケートの実施と年間2回の教育相談の実施により、いじめの早期発見、早期対応することができた。 ・週1回の生徒指導委員会の開催により、情報の共有を行っているが、全教職員への共有化という点で課題がある。	・組織的ないじめへの対応を行っていくため、報告・連絡・相談の体制を徹底すると同時に、教職員間の相談がしやすい体制を整えていく。 ・日常的な生徒理解の方法(個人ノート、連絡帳等)を活用し、常に子供たちの変化をつかむようにする。	
研修(資質向上の取組)	校内における研修の実施体制の整備	・道徳の授業研修、授業力向上のための研修を実施することができた。 ・授業公開週間、月間を設定し、互いの授業を見合う中で授業力の向上を図ったが、授業を見に行く教師の数が不十分である。	・授業公開のポイントをしばった、提案授業を企画する。 ・授業公開、見学に対する教師自身の意識改革を行っていく。	・授業改善の取り組み姿勢は評価できるが、せっかくの機会を有効に使えないのは、それだけ魅力的な授業がされていないのか、先生方が日常の業務に追われ見に行く時間がないのか。その両方かをみきわめ、あきらめずに取り組みを行ってほしい。教師にとって授業は命だとおもうので。
	校種間の交流による研修体制の確立と推進の取組	・小学校への出前授業を実施できた。(英語科)が他教科への広がりが今後の課題である。 ・小中双方向の交流に基づいた研修体制に課題がある。	・まずは、小中の教師が気軽に交流できる体制をつくっていく。 ・交流できる教科を計画的に増やしていく。	
保護者、地域住民との連携)	学校開放、学校に関する様々な情報の提供の取組	・学校日より、学年学級通信、ホームページによる情報発信を行った。保護者の肯定的意見は、91.6% ・オープンスクールを年3回実施することができた。	・引き続き情報の発信に努めていくと同時に、ホームページの存在等、情報発信の手段の啓発を行っていく。	・学校日より、ホームページでの情報発信に対する肯定的意見が高いことは評価できます。後期アンケートで若干パーセンテージが下がったことや自由記述の中に否定的意見があったことから、保護者の知りたい情報がタイムリーに発信できているかという事も点検する必要があると思う。
	学校運営へのPTA・地域住民の参画及び協力を推進する取組	・図書ボランティア、緑化ボランティアの協力を得ることができた。 ・学習支援、バルマーク回収のボランティアを十分に機能させることができなかった。	・学校支援ボランティアのコーディネーターとの連携をふかめ、学校のニーズに対するボランティアの積極的な活用を図っていく。	
学力向上指導改善プラン	基礎学力の定着、向上に向けての取組	・少人数授業の実施により、きめ細やかな学習指導を行った。 ・テスト前、長期休業中の学習相談を実施できたが、日常的な学習相談が実施できなかった。	・引き続き新学習による少人数授業を行い、個に応じた教育の徹底を行っていく。 ・ノー部活デーを利用した学習相談の実施を計画実践していく。	・新学習システムによる少人数授業など、きめ細かな取り組みがされていると思う。自己評価の中にもあったように、日常的な学習支援の方法を工夫する必要があると思う。「ひょうごがんばりタイム」や「学習支援ボランティア」の活用など今後推進してもらいたい。
	基本的学習習慣の確立に向けての取組	・年間4回の家庭生活状況調査を実施し、家庭での学習習慣の定着に努めた。 ・家庭学習プリントの配布により、家庭での学習習慣の定着を図った。(3年)	・家庭生活状況調査の結果の活用を進めながら、学習習慣の定着をさらに進めていく。 ・家庭学習プリント全学年への実施に向けて体制づくりを行っていく。	